

## 2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 横浜市立幸ヶ谷小学校 ] 担当教諭名 [ 細谷 邦弘 ] ( 6年3組 30名 )

相手国・地域 [ ルワンダ ]

海外学校名 [ Umuco Mwiza School ] 担当教諭名 [ 竹本 栞(JICA) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	図画工作	「アートマイルプロジェクト 壁画を作ろう」	6
	社会	「世界の中の日本」	6
	総合的な学習の時間	「平和と平等の虹を架けよう」他	40
	道徳	「身近な差別について考えよう」他	4

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	人や国の不平等をなくそう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	平和と平等の虹を掛けよう



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
異国の生徒と同じテーマをもとに情報交換や議論を重ねることで、深い学びにつながった。児童は遠い国の同年代の存在を身近に感じることができた。また、他国の文化や生活様式を学ぶ良い機会になった。	時差があり、二つのクラスと一緒にオンライン上で授業を行えるのが、限られた時間のみであった。またフォーラムでの交流が、ICTスキルや語学の習得上、児童同士のみでおこなうことが難しくコミュニケーションスキルの向上に課題があった。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
当初、ルワンダ共和国という存在さえ知らなかった児童が、今回の学習を通して、深くルワンダ共和国の特徴や文化を学ぶことができた。またテーマが SDG10の視点を通した学習であったので、「人や国の不平等」について関心を高め行動に移すことができた。	海外の学校とのオンラインの交流を継続的に行うことは初めての経験であり何より一緒に壁画を制作するという取り組みを通して、児童の変化を多くの場面で感じることができた。当初の教師側の予想とは大きく違い主体的に変容する児童の姿を感じることで、本プロジェクトの可能性を感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月	アートマイルプロジェクトについて 調べ学習 SDGsを理解する・課題発見	「人や国の不平等をなくそう」に沿った 課題について意識が芽生える ルワンダについて調べ学習が主体的 に進む	総合 道徳 社会
共有 相手と意見交換	7月 ～ 10月	Zoomとフォーラムを通して自己紹介 それぞれの国の課題について共有	関心があるテーマで話し合うことがク ラス内で日常化する 国内にある差別や不平等について調 べ学習が主体的に進む	総合
融合 メッセージ作成	11月 12月	課題解決に向けての解決策を話し 合い活動 共有、融合を通して気づいた課題を もとに支援活動	Zoomとフォーラムを通して課題解決 について共有が進む ルワンダと日本にある差別や不平等 の違いについて理解が進む 全校や地域に支援活動の発信を行う	総合 社会
創造 壁画制作	1月	壁画制作 壁画のメッセージやデザインの考察	グループに分かれて、制作が活発に 進む テーマに沿ったメッセージについて主 体的に考えるようになる	総合 図工
評価 振り返り 自己評価	2月	総合的な学習の時間のまとめ 壁画掲示 評価	自分たちと学級の変化について振り 返りが共有される	総合 道徳

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	ルワンダとの交流を通して、日本との違いについて深く学ぶ機会とな った。また日本との違いについて他者に説明をする機会も多くあつ た。
主体的に考え行動する力	5	交流を通して、支援活動をしたい、という意欲が湧き活動を進めること ができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	テーマや活動について自分たちの認識が独りよがりになっていない か、また活動の課題は何かについて考察を行ったが、振り返る視点の 深さはここによって差が生まれた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	ウムチョムイーザー学園の生徒と、同一のテーマで語り合い、議題を 深めることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	ウムチョムイーザー学園の生徒に対して、思いを込めたメッセージを 作成して文房具と共に送るなど、壁画に込められた思いを表現するこ うができた。